

《I》まなざし保育園 保育・事業報告

本年度は延べ園児数 997 名で、0・2・3・4・5 歳児については利用定員 90 名に変更しましたが年間延べ 997 名で 1,080 名を下回る状態で推移いたしました。

保育計画及び事業計画は全職員が各担当の責務を果たす一方、分野ごと会議等を持ち、職員間の意思疎通をより計ってまいり、概目標を達成出来ました。

常勤保育士不足ではありましたが、お陰様で一年間大きな事故も無く、無事終了出来ました。

1、施設事業運営

(1) 児童の処遇

ア、園児

6 クラスの編成で、4 月より 73 名で年度を開始し、途中何人かの入・退園はありましたが、延べ人員 997 名（内障がい児延べ 48 名）でした。

イ、健康管理

内科健診、歯科検診、日々の健康に関する教育等を通じ計画通り実行することができた。

ウ、栄養管理

給食の持つ意義を十分に職員が認識し、それにもとづき毎月、献立会議を開催し、計画、実行及び反省を積み重ねてきた。特に偏食、小食、アレルギー等について注意し、ご家庭と連絡を密にし、健康、体位の向上を計ってきた。

エ、保育

年齢に応じ、保育指針にしたがった保育計画、行事計画を実行することが出来た。

オ、安全管理

毎月の防災教育と避難訓練と関連設備の点検を実施した。また、交通安全についても実地訓練及び教育を行い、安全を確保することに、努めてきた。

(2) 職員の処遇

ア、職員の構成

施設長 1 名、保育士 12 名、看護師 1 名、調理員 3 名で年度を開始した。令和 5 年 5 月 1 日から保育士 1 名採用、令和 5 年 8 月 27 日より保育士 1 名産育休、令和 6 年 2 月 1 日から保育士 1 名採用。令和 6 年 3 月 31 日に保育士 4 名が自己都合により退職する。

イ、健康管理

規定に基づいて検査項目の健康診断を全職員が実施することができた。

ウ、職員分担

園長、主任保育士、副主任保育士、クラス担任、調理とそれぞれ分担し、業務を遂

行した。

エ、職員会議

定例職員会議、献立会議及び職種別話し合いを随時行ってきた。

オ、研修報告

各職種にわたって、機会あるごとに行政機関及び各団体の主催する研修に積極的に参加するように心がけ、成果がみられた。園内研修は臨時及び計画通り実施した。

カ、福利厚生

歓送迎会、忘年会等を計画通りに実施し、職員相互の親睦を図った。

(3) 保護者との関わり

ア、保育説明会を開催。

イ、保育参観、懇談会、個人面談等を実施した。

2、施設事業管理

(1) 事務関係

ア、会計事務、管理事務

(一) 経理規定、就業規則等の諸規程により処理し、且つ処遇する。

イ、児童処遇事務

(一) 保育関係

児童表、生活記録、保育計画（月案、週案、日案）、個人保育目標月案、保育日誌、

個人日誌、連絡帳、行事实施記録、出席簿の作成を行った。

(二) 給食関係等

献立表、献立会議簿、カロリー計算表、栄養出納簿の作成を行った。

(三) 健康管理関係

内科検診簿、歯科検診簿、身体測定簿の作成を行った。

(2) 設備関係

安全対策として二階テラスにオーニングを設置した。

学校 110 番 IP 移行に伴い入れ替えた。

(3) 備品関係

ア、備品購入

固定資産としてノートパソコン 3 台、逆浸透膜浄水器を購入した。

イ、保育用品購入

保育材料類(画用紙、絵具、のり、絵本ほか)

(4) 災害対策

ア、避難訓練

(一)予定通り毎月、火災、地震を交互にして行った。

(二)園児引渡し訓練を年1回実施した。

(三)総合火災訓練を年1回実施した。

イ、防災設備の保安点検

(一)毎月初日を安全の日とし、園内外の安全チェックを行った。

(二)消火器の点検

(三)備蓄食品の購入

ウ、防災用品の設備

3、地域社会との関連

(1)地域の小学校の授業の様子や校内を見学し、学校生活の話聞いて交流を行った。

(2)地域の人に保育園の行事に参加してもらった。

4、会計 (決算書)

別 添

5、添付書類

決 算 書